

真栄田岬付近海域における急潮流観測

平成15年11月10日の大潮の低潮（干潮）時に真栄田岬付近海域において、急潮流観測を実施した。観測方法は、DGPSブイによる漂流観測を行った。

1. 観測海域

測点図に示すとおり

2. 観測期間

平成15年11月10日の低潮前後1～2時間

3. 使用船舶等

測量船「おきしお」及び搭載艇

業務用自動車 一台

4. 漂流観測経過概要

2日間に分けて漂流観測を行う予定であったが、悪天候のため観測は1日のみとなった。

11月10日の低潮13時40分頃にあわせて、観測を行った。

低潮前の観測 ブイ投入／11：21 ブイ揚収／13：03 漂流時間1時間42分

低潮後の観測 ブイ投入／14：24 ブイ揚収／15：32 漂流時間1時間08分

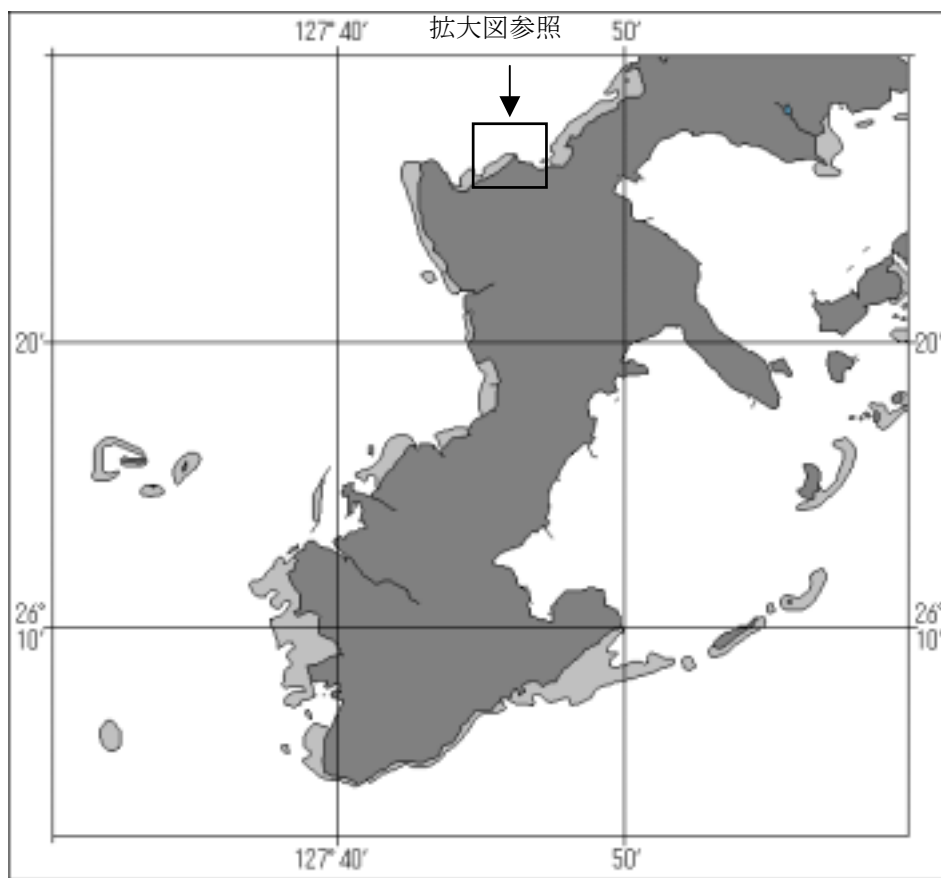
観測中、真栄田岬付近の海域は穏やかで南寄りの風2～3m/sと弱く、ブイの漂流には風の影響は無いものとした。

低潮前後の流れは、両方ともに沖合へ（北方へ）の流れを示したが、低潮前の流れは岸からどんどん離れて行き、そのまま沖合に向かって約0.1kn（平均速度）の速さで流れた。低潮後の流れはすぐに沖に出ることはなく、岸に沿いながら沖合へ約0.2kn（平均速度）の速さで流れた。（ブイ軌跡図参照）

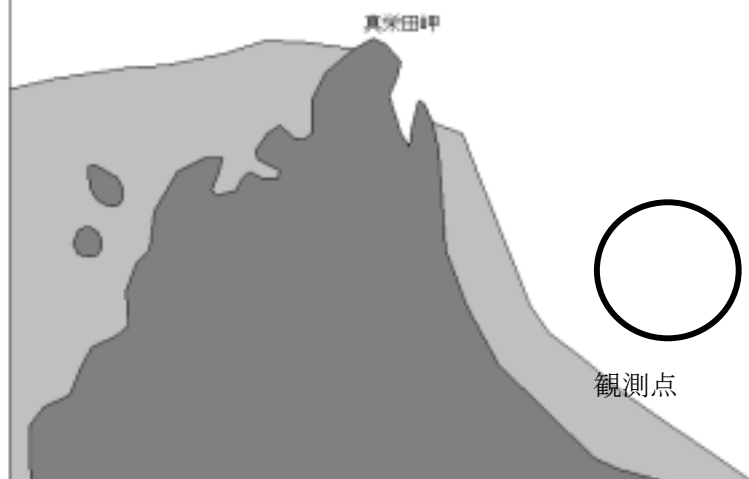
5. まとめ

今回の観測海域である真栄田岬付近は、四季を問わずダイビング客が訪れる人気のダイビングスポットである。今回の観測では、低潮を挟んで1～2時間は沖合へ流れる結果となった。しかし、真栄田岬沖合には以前の調査から低潮前は陸向きの流れがあり、低潮後は沖向きの流れになることが観測されている（潮流推算図参照）。また、この海域の沿岸部分は高い崖に囲まれており、リーフ際で最大約80mも急激に深くなっている。この様な沿岸地形や海底地形の影響を受けた流れは、天候や海上模様等により予想もしない急潮流が発生しうる可能性が高いと思われるので、十分な注意が必要である（真栄田岬海底地形図参照）。

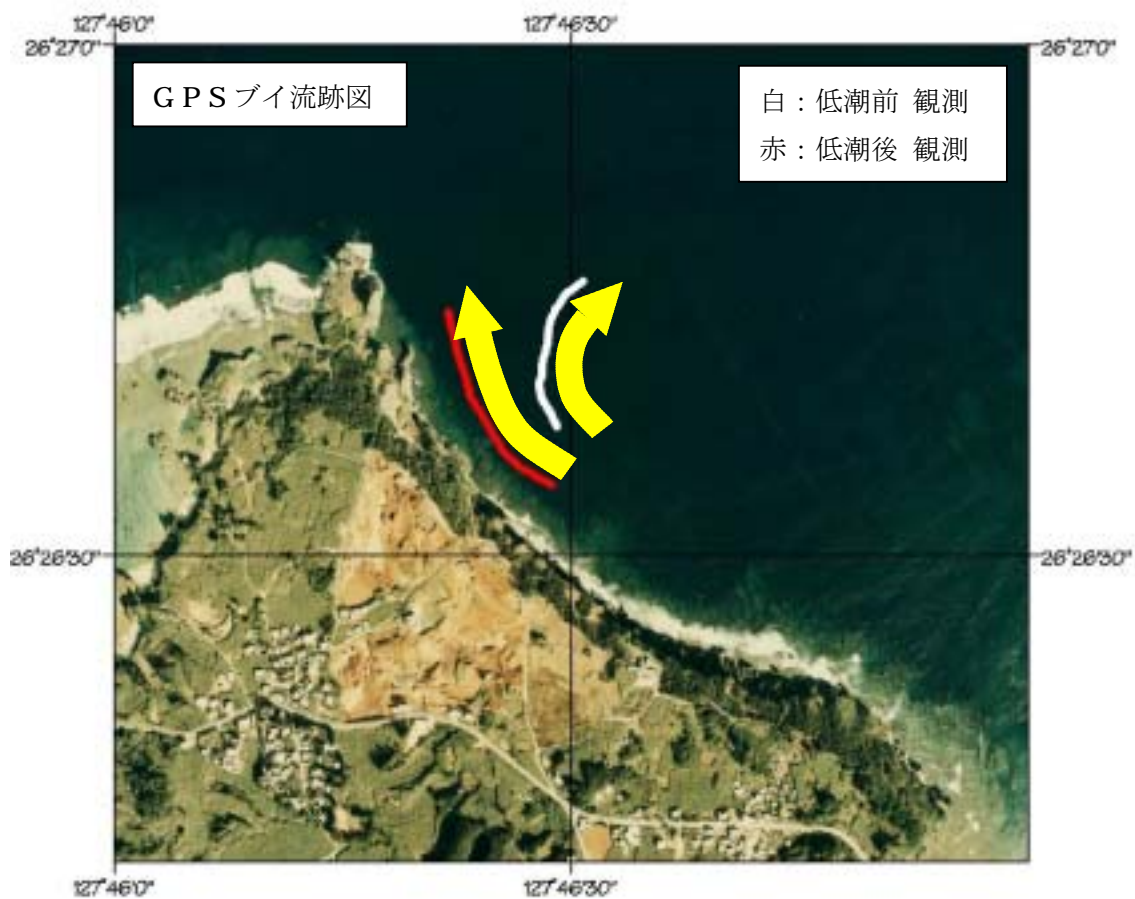
測点図



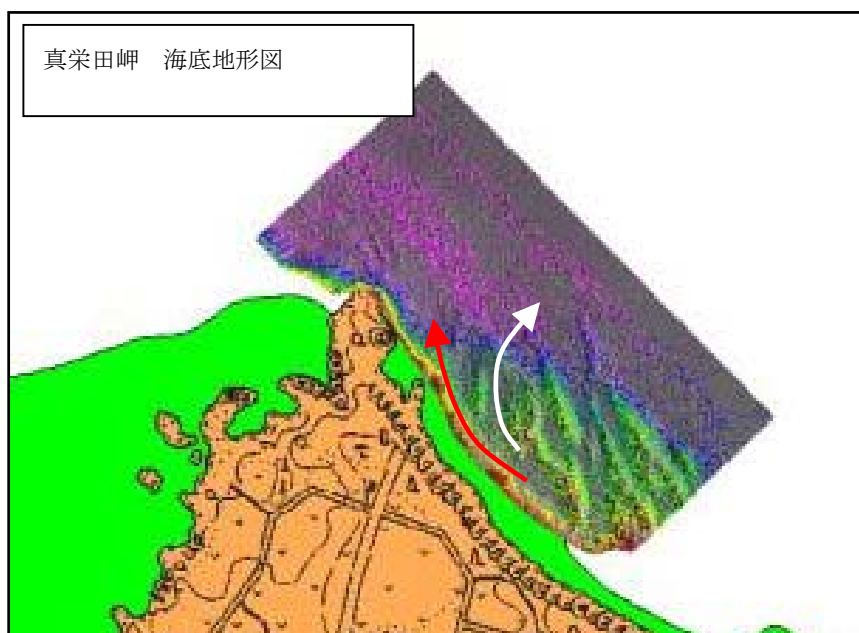
< 拡大図 >



ブイ軌跡図



真栄田岬海底地形図



潮流推算図

